

12月議会で明らかになったこと

- 市民会館の建設について
平成37年1月の完成を目指している。第1回の審議会を開いた。
- 総合体育館
国体後2つのバスケットゴールが完成して、中学生以上も利用ができるようになった。
- 道路の維持管理について
自治会に指示して、そこが必要なところを出してもらい、草刈りなど必要な所を支援する。来年度から実施したい。
- 大洲病院会計について
大洲病院会計は2億円、3億円と赤字が続いたが、今年は昨年より1億5000万円改善できる予定。

～日本共産党 梅木かづこの質問と答弁～

○大洲小学校の放課後児童クラブについて

大洲小学校の放課後児童クラブについて、保護者や関係者から、3階で実施されているが迎えに行くのに高齢だと階段が大変。2階で実施できないかの声です。高齢者に配慮して手すりを付ける。階段が滑らないようにするなど具体的検討をするおつもりはないか。

<答弁> 大洲児童クラブについては、大洲小学校内で空き教室などの確保ができないため、旧図書館3階に定員45名で開設している。3階であるため、送迎時の階段の上がり下りが大変であるため、困難となる場合には、支援員にご連絡頂ければ1階の玄関まで児童に同行することとしており、できるだけ保護者などの負担とならないように配慮している。また現施設には、児童クラブを運営する上で必要な電話、非常通報装置および流し台などの設置工事を施していることから、容易に他の階に移転することは難しい状況である。なお、階段の手すりについては、現在4階までの階段すべてに設置している。階段や通路が滑りやすいとの意見については、利用者や支援員の話聞き、対応したい。

大洲市12月定例議会

～日本共産党 梅木かづこの議会報告～

梅木かづこ市議は、大洲市国民健康保険特別会計について反対討論をおこないました。



梅木かづこ市議は、決算認定に当たり、大洲市国民健康保険特別会計では、下記の様に指摘、反対討論を行いました。

梅木かづこ市議の反対討論です

国民健康保険税条例の一部改正がされ、課税限度額が引き上げられ基礎課税額が52万円から54万円、後期高齢者支援金課税額が17万円から19万円にされました。これにより税収は421万円増えるといいます。市民への負担増です。

さらに国保保険税率の所得割を0.2%、均等割を1,000円引き上げ、24,500円、平等割を同じく1,000円引き上げ25,000円に引き上げました。これにより一人当たりの平均保険税額は98,932円になり、生活費以外に家族4人であれば40万円近い負担です。こうした決算は承認できません。

市民の皆さんは、働いても働いても食べていくのがやっと、と苦しい暮らしのなかで税金を払い、大洲市の財政が厳しいからと各種サービスの縮減に我慢してきました。国に対してこれ以上の国民負担を押しつけないように働きかけると同時に、一般会計からの繰り入れも検討すべきです。

